

④スイッチOTCの社会貢献に関する研究会

名称	④スイッチOTCの社会貢献に関する研究会		
目的	現行の医療・介護保険制度を維持するためにスイッチOTCが果たす役割を考察する		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度を持続可能にするためのスイッチOTCが果たす役割は何か ・日本が世界の主要国の中で医薬品に占めるOTC比率が低い理由は何か ・日本医師会、新薬メーカーなどと連携できる適正なスイッチOTC化とは何か ・医薬品、生薬、サプリメントとスイッチOTCとの関係をどう捉えるか ・スイッチOTCと他の医薬品・生薬・サプリメントなどを併用できる条件は何か 		
代表者	役職名	氏名	法人名・役職
	座長	上原 征彦	日本ヘルスケア学会・産業部会 部会長
	副座長	薬袋 貴久	昭和女子大学 グローバルビジネス学部
達成内容	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の優れた医療・介護保険制度を持続させるために、OTC薬が果たすべき役割を明らかにする ・日本医師会、新薬メーカー等の理解が得られる制度設計を構築する 		
成果物	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会、少子化時代におけるOTC薬、スイッチOTC薬の新たな役割に関する報告書を作成する ・スイッチOTCの役割と位置づけについて経済領域の雑誌、学会誌等に投稿する ・1年の成果を報告会または学会年次大会で報告する 		
活動内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・薬科大学関係者インタビュー ・医療団体・関係者インタビュー(医師会・薬剤師会・新薬メーカー・卸・ドラッグストア他) ・食品業界関係者インタビュー(医薬品と食品の関係、併用について) 		
研究会開催 スケジュール	・1-2か月に1回程度の研究会活動、1年に1回報告書をまとめる		
運営方法と ルール	議事録作成者及び連絡担当者：横田		
備考			